

2 千葉県実施概要(当初計画)

実施概要

千葉県では、新型コロナウイルス感染症の影響により、公道での聖火リレー実施(聖火ランナーの走行)を取りやめ、出立式会場において、無観客での点火セレモニーおよび出立式を実施した。また集火式についても無観客で実施した。
この実施方法の変更前に計画していた本県における聖火フェスティバルの概要は次のとおり。

日 程：2021年8月18日(水)

概 要：千葉県聖火フェスティバルは、採火、集火式、聖火リレー、出立式等によって構成される。

イベント	概要
各市町村における採火	「東京2020パラリンピック聖火」の元となる「市町村の火」を、県内すべての市町村により採火
集火式	「市町村の火」を、県の中心部に位置する市原スポレクパーク(市原市)で一つに集め、「千葉県の火」とする集火式を実施 ※千葉県の火…東京2020パラリンピック聖火(千葉県)
聖火リレー・出立式	「千葉県の火」によって、競技会場のある千葉市内(5区間)で聖火リレーを実施した後、千葉ポートタワー前広場(千葉市)において、開催都市である東京都に「千葉県の火」を送り出す出立式を実施
聖火ビジット(任意)	市町村庁舎や障害者施設などへの「市町村の火」や「千葉県の火」の訪問イベント

●特徴

千葉県聖火フェスティバルでは、県内全54市町村により、それぞれ独自の方法で「市町村の火」が採火される。

「市町村の火」は、県の中心部に位置し、スポーツの国際大会において海外の選手団等がキャンプ地にするなど、国内外で高い評価を得ている市原スポレクパークで行う集火式で一つとなり、「千葉県の火」が誕生する。

その後、「千葉県の火」をつなぐ聖火リレーが、競技会場のある千葉市内5区間で行われ、男女共同参画や福祉に関する複合施設である千葉市ハーモニープラザやパラスポーツの大会を数多く開催している千葉ポートアリーナ等を通る。最終区間の到着地点である千葉ポートタワー前広場で出立式を実施し、「千葉県の火」を開催都市東京都に送り出す。

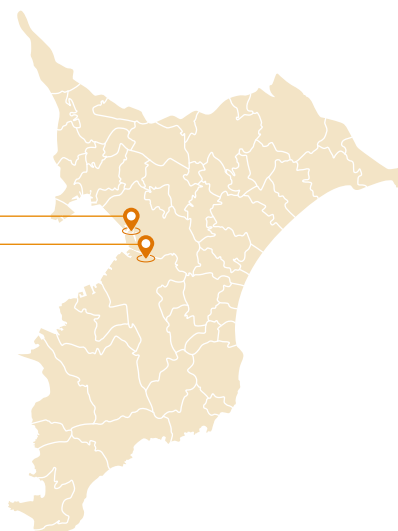
聖火リレーやセレモニー等に児童・生徒や障害のある方などさまざまな方々に参加していただくことで、多様性や共生社会について考えるきっかけとしていく。

採 火：54市町村 各採火場所

聖火リレー：千葉市内5区間

出立式会場：千葉ポートタワー前広場(千葉市)

集火式会場：市原スポレクパーク(市原市)



聖火リレールート

走行区間等：千葉市内全5区間 スロット数：41スロット 走行距離：約8km

区間	出発予定地・到着予定地 実施セレモニー	スロット数
1	青葉の森公園芸術文化ホール → 千葉寺駅南口付近 出発式:青葉の森公園芸術文化ホール玄関前	6
2	千葉市蘇我スポーツ公園駐車場 → 花の駅そが付近	12
3	千葉県庁 → 千葉神社 ミニセレブレーション:千葉県庁前ロータリー	5
4	旧東大生産技術研究所千葉実験所前交差点 → 敬愛学園前交差点	6
5	千葉ポートアリーナ → 千葉ポートパーク 出立式:千葉ポートタワー前広場	12

1区間 青葉の森公園芸術文化ホール～千葉寺駅南口付近



2区間 千葉市蘇我スポーツ公園駐車場～花の駅そが付近



3区間 千葉県庁～千葉神社



4区間 旧東大生産技術研究所千葉実験所前交差点～敬愛学園前交差点



5区間 千葉ポートアリーナ～千葉ポートパーク



セレモニー実施概要

実施セレモニー 会場地(地点)	実施 市町村	プログラム	サポートランナー
集火式 市原スポレクパーク	市原市	≪セレモニー≫ ●千葉県警察音楽隊、カラーガード隊による演奏、演技 ●東海大学付属市原望洋高校吹奏楽部による演奏	
聖火リレー	出発式 青葉の森公園 芸術文化ホール (1区間 出発地点)	千葉市 ≪セレモニー≫ ●千葉交響楽団による演奏	≪第1走者に追走≫ ●千葉市立特別支援学校の生徒
	ミニセレブレーション 千葉県庁前ロータリー (3区間 出発地点)	千葉市	≪第1走者に追走≫ ●県内農福連携施設関係者
出立式 千葉ポートタワー前広場 (5区間 到着地点)	千葉市	≪セレモニー≫ ●(一社)日本バトン協会関東支部による演技 ●チーバくんキャラバン隊による演出 ≪セレモニー(ブース展開)≫ ●県PRブース ●千葉市100周年PRブース ●学生団体おりがみによるフォトメッセージブース ●スポンサー((株)LIXIL)によるフォトスポットブース	≪最終走者に追走≫ ●千葉県特例子会社連絡会 構成会社社員

千葉県聖火フェスティバルにおける聖火リレールートとセレモニー会場の選定

千葉県では、聖火リレールートを選定するに当たり、パラリンピック聖火リレーのコンセプトである「Share Your Light -あなたは、きっと、誰かの光だ。-」に込められた「多様な光(人)が集まり、出会うことで共生社会を照らす力としよう」の想いを踏まえ、さまざまな方々がより多く参加できるルート案等を検討することとした。

東京2020組織委員会から、東京2020パラリンピックの競技会場がある千葉県に示された聖火フェスティバルの開催日程は1日間であり、その限られた時間の中で、採火、集火、聖火リレー、出立式からなる聖火フェスティバルを実施する必要があった。このため千葉県では、2019年7月に設置した「千葉県パラリンピック聖火リレー準備委員会」において実施方法や実施場所等の選定方針を定め、各市町村の意向等も踏まえて検討を進めた。

その結果、採火については全市町村がそれぞれ独自の方法で「市町村の火」を作り、それらの火を県央部に位置する市原市で一つに集めて「千葉県の火」とし、その「千葉県の火」をつなぐ聖火リレーは、競技会

場がある千葉市内で実施することとした。なお、千葉市内のルート選定に当たっては、東京2020組織委員会から示された基本的な考え方「ボードレスに人と人との新たな出会いを生み出せる場所」「共生社会の実現に資する場所・パラリンピック聖火リレーならではの場所」を前提に、聖火リレーが実施される千葉市の意向を踏まえ、男女共同参画や福祉に関する複合施設である千葉市ハーモニープラザや、パラスポーツの大会を数多く開催している千葉ポートアリーナ等を通するルート案を選定した。そのルート案をもとに東京2020組織委員会において検討の上で決定され、2021年5月、千葉県内の聖火リレールートが発表された。

また、出立式会場については、オリンピック聖火リレーと同様に「観客が観覧しやすい場所」「観客と出演者の安全が確保できる場所」などの基本要件を踏まえ、千葉市と協議して「千葉ポートタワー前広場」に決定した。

千葉県選考パラリンピック聖火ランナー

本県を走行するパラリンピック聖火ランナー

ランナー総数

57人
(通常枠ランナー39人、団体枠ランナー2組・18人)
※通常枠ランナー：はじめて出会う3人が1組のチームになって走行
※団体枠ランナー：最大9人のグループで走行

ランナー選考の考え方

東京2020組織委員会から示された聖火ランナー選定の基本的な考え方を前提としつつ、地域のバランスに配慮しながら選考

ランナー選考方法

通常枠ランナー

すべて公募により選考

募集期間：2019年12月16日(月)～2020年2月15日(土)

公募人数：29人

※公募時の千葉県選考可能人数は29人だったが、2021年5月、東京2020組織委員会より10人追加されたことから、最終的には、上記募集期間に応募いただいた方から計39人の通常枠ランナーを選考

応募方法：千葉県ホームページまたは郵送

応募件数：1,181件(応募倍率：約40倍)

選考方法：書類審査・面接による選考

団体枠ランナー

東京2020組織委員会の基本的な考え方にに基づき、県が独自に選考

聖火ランナーの基本応募要件

- 2008年4月1日以前に生まれた方。ただし、2020年8月1日(当初予定していた聖火リレー開始月の初日)時点で、18歳未満の方は保護者の同意が必要。
- 千葉県にゆかりがある方(現時点または過去に居住していたことがある方、現時点で所属している職場や学校がある方、家族や親戚が居住している方、過去に活動したことがある方など)とする。
- 国籍・性別は問わない。
- 障害の有無は問わない。
- 自らの意思で火を安全に運ぶことができる方。ただし、介添えスタッフ(介添者)のサポートは必要に応じて可能。
- 政治的・宗教的メッセージを伝えることを目的とする方は、聖火ランナーになることはできない。
- 公職選挙法に規定する公職にある方(国会議員、地方公共団体の議員・首長)、公職の候補者や候補者になるうとする方、政党や政治団体の党首およびこれに準ずる方は、聖火ランナーになることはできない。
- 宗教家が、宗教上の実績で評価されて聖火ランナーになることはできない。

東京2020組織委員会が示す聖火ランナー選定の基本的な考え方

幅広い分野から選定

国籍、性別、年齢、障害の有無等のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、各々を組み合わせることにより多様性に富んだリレーとする。

誰かの希望や支えとなる存在

- 誰かに希望を与えている人
- 誰かの支えになっている人
- 社会基盤、生活基盤の構築に貢献した人

共生社会を体現する存在

- 障害を持ちながらも世の中に向け積極的に発信を行っている人
- 年齢や国籍に関わらず各分野で活躍する人
- 共生社会の実現を目指して活動している人

千葉県の聖火ランナー選考に当たっての視点

- 県内の幅広い地域からランナーを選考することとし、地域のバランスにも配慮。

開催都市内聖火リレー走行代表者(県代表開催都市ランナー)

- 各都道府県の代表者1人が東京都で実施する開催都市内聖火リレーで走行
- 千葉県では、車いすマラソンのパラリンピアンであり、(一社)日本パラ陸上競技連盟副理事長や、千葉県教育委員を務めている花岡伸和さんを選考